

🌙 ナイトウォーク企画書 🌅

1. 概要

夜間に歩行しながら朝日を迎える体験活動。

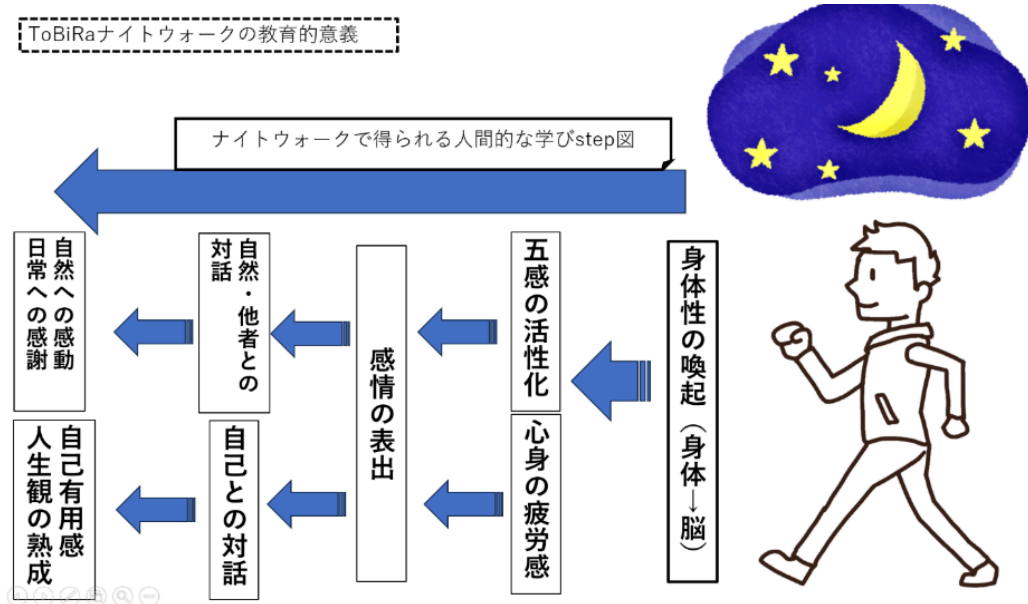
自然の暗さ・静けさの中で仲間と協力し、課題解決力や忍耐力を育む。地域理解と安全教育を含んだ体験型学習として実施する。

2. 教育的目的・目標

(目的) 非認知能力を高め、継続的に成長し続ける基盤づくり

(目標) キーターゲット

- ・協働力・・・仲間とゴールを目指して共に協力する
- ・共感力・・・仲間と困難を共に経験することで育まれる。
- ・レジリエンス・・・約30kmを歩くという困難な体験に出会うなかで困難を乗り越える力がつく。
- ・感性・・・スマートフォン等の現代の便利な利器から離れ、苦勞することで、自然や他者への感謝の心が磨かれる



上記のモデル図はナイトウォークで得られる心や意識の領域が磨かれるまでのステップを表している。

○サブターゲット

・安全教育

夜間の歩行を通じて、反射材の重要性、危険予測、仲間との連携など、安全に行動する力を身につける。

・地域理解

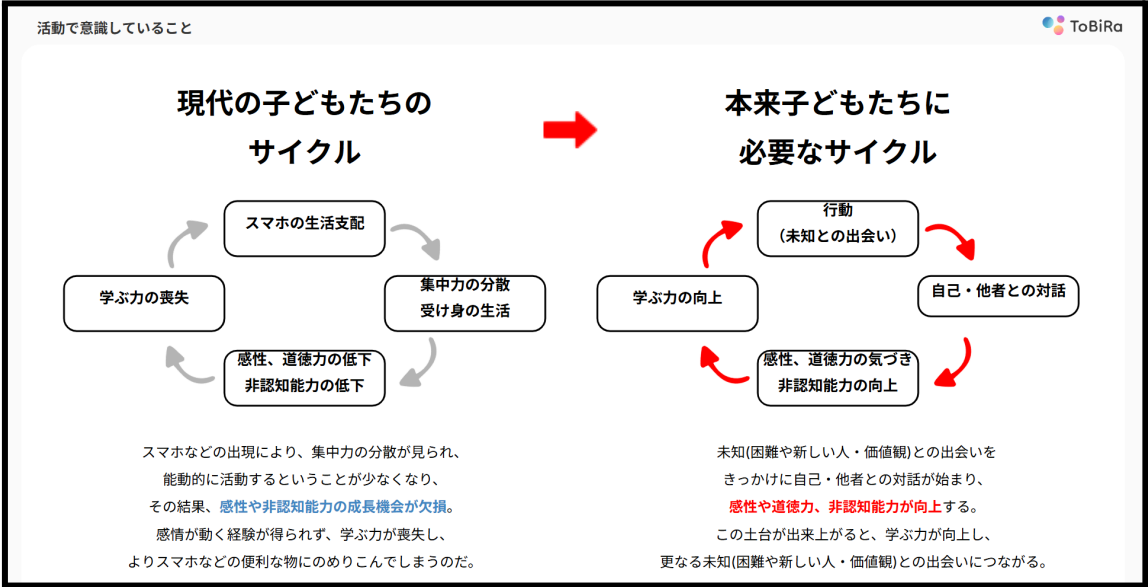
地域の自然・文化に触れ、身近な環境への理解と愛着を深める。地域住民や自治体との連携を通して、地域社会の一員としての意識を養う。

3. 教育的支援

このナイトウォークでは2で述べた教育的目的、目標を達成するために、以下のような支援を行っていく。

- ①小集団グループ構成によるコミュニケーションの活発化
小集団でのグループでの活動により、より対話的な活動が期待される。そのなかで、コミュニケーション能力だけでなく、共感力・協働力を育成していく。
- ②自己との対話を促すひとり時間の設定
夜中の厳しい道を歩く中で感じたことや、気付いたことを考えながら、自己との対話を促すために、ゴール地点である稲毛の浜で自分と向き合うひとり時間を設定する。
→**そのためいなげの浜で焚火を行えると理想的な時間になる。**

※NPO法人ToBiRaが捉える成長循環図



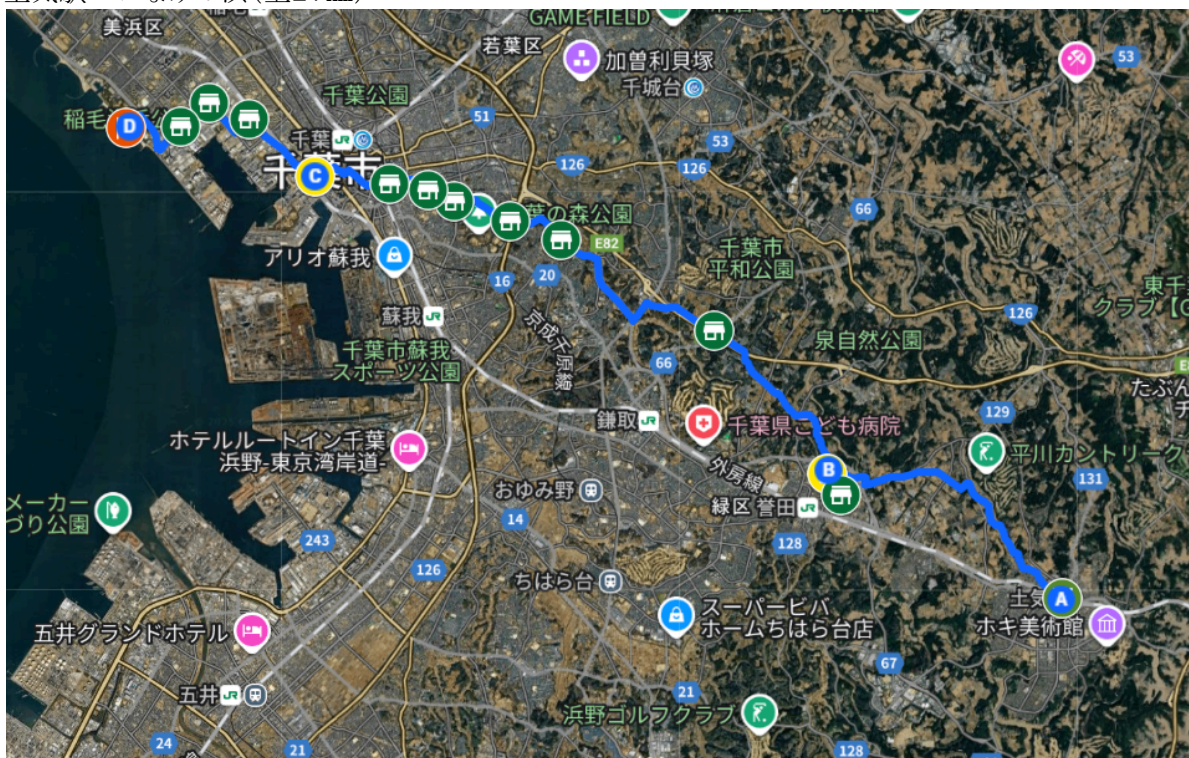
4. 日時・場所

日時: 11月29日(土)～11月30日(日)(仮日程)
集合: 土気駅北口(JR外房線)
時間: 21:00～7:00
ルート: 土気駅～いなげの浜(あらかじめ3つのルートを設定)
【mission】**いなげの浜の朝日を参加者全員で見る**

時間	活動内容
21:00	・集合、挨拶 【今日のmission】 いなげの浜で朝日を参加者全員で見る。 本日のルート発表 1 星影トレイル(自然体験コース)
9:30	・土気駅出発
6:00	・日の出 いなげの浜で日の出を見る。公園の許可が下りれば焚火で火を囲ったり、豚汁を飲んだりしながら、自己との対話やグループの仲間との会話を生み出したい。
7:00	挨拶・解散 →何かしらの形でアンケートなどを行えるとベスト。

5. ルート詳細

土気駅～いなげの浜(全27km)



細かいルートはこちら

<https://www.google.com/maps/d/u/0/edit?mid=1zamgJn9bx0HHxnxVFsYnVFFxu6ovlvE&usp=sharing>

- 休憩スポット① たかだの森公園
- 休憩スポット② ルート上にあるコンビニ
- 休憩スポット③ ルート上にあるコンビニ
- 休憩スポット④ みなと公園

6. 参加者

対象年齢: 中学生～高校生(12～18歳)

人数: 10名程度(各グループ5名まで)

引率スタッフ数: 6名(教員・NPOスタッフ・救急講習修了者を含む)

※保護者の親権者承諾の提出がされていることが条件

7. 使用制限(教育的工夫)

使用可能:懐中電灯、コンパス、紙の地図

使用不可:スマートフォン(緊急連絡を除く)、

子供の居場所はインスタのストーリーで随時チェック

ねらい:デジタルに頼らず、自然環境と自分たちの力でゴールを目指す経験を通じて、課題解決能力・協力性・判断力を養う。

8. 安全面対策

- ・保険加入:参加者・スタッフ全員、ボランティア活動保険に加入。
 - ・緊急連絡体制:ToBiRaメンバーはライン等で電話。
 - ・病院リスト:ルート付近にある救急対応している病院をリストにまとめる。
 - ・緊急時合図:参加者は「懐中電灯を大きく振る」をサインとして統一。
 - ・緊急車両:海浜幕張駅周辺で待機
 - ・装備:懐中電灯、救急セット(絆創膏、ガーゼ、テープ、洗浄綿、アルコール、経口補水液、手袋、タオル、ティッシュ、携帯トイレ)塩分チャージ、飲料水。
- ※参加者の緊急連絡先をリスト化し、緊急時に保護者に連絡をとれるようにする。

9. 地域住民への配慮

騒音:住宅街では声のボリュームを考えて通行する。

ゴミ:いなげの浜でToBiRaメンバーが参加者から回収し、処分。

通行:自動車や自転車、歩行者の交通を妨げないよう配慮

10. 役割分担表

役割	担当者
総合責任者	菊池 慧(代表)
安全面責任者	前武當 光
救護	和泉 咲生
記録	川口 貴大